

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 岡山市立建部小学校 (※正式名称を記載)
種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}
 中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校
 教員養成大学 専修学校、各種学校
 特別支援学校
 その他 (例：小中高一貫)
所在地 〒709-3144 岡山市北区建部町富沢366
E-mail takebes@city-okayama.ed.jp
Website http://www.city-okayama.ed.jp/~takebes/
幼児児童生徒数 男子 71 名 女子 49 名 合計 120 名
幼児・児童・生徒の年齢 6 歳～ 12 歳

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要 (800字程度+活動内容を表す写真数枚)

※チェック事項1-1、2-1に対応

当校は、「地域とつながろう 絆プロジェクト」を活動テーマとして、ESDの実践を通して「身近な自然とそこに生きる人々とのかかわりについての探求的な学習を通して、そこにある問題を主体的に見だし、多面的に追求する方法を習得し、仲間とともに問題を解決するとともに、自己の生き方においてよりよい生き方においてよりよい生活を考えることができるようにする」ことを目標とした。

具体的には、①食物に関わる学習(3年)②人に関わる学習(1年)(4年)③環境に関わる学習(1・2年)(5年)、④地域の歴史に関わる学習(6年)を行った。

① 食物に関わる学習

○『大豆の大変身!』

- ・大豆を育てる。〈種まき、草取り、収穫、処理〉(1, 2学期)
- ・大豆パワーを調べる。〈調べ方の相談、大豆博士の話を聞く。〉(2学期)
- ・大豆で○○を作る。〈調べ方を相談、作り方を調べる、まとめる。〉(2, 3学期)
- ・作り方を発表する。(2学期)
- ・体験活動をする。〈豆腐作り、きなこ作り、味噌作り〉(2, 3学期)
- ・大豆のPRをする〈まとめの会に保護者を招いてよさをPRする。〉(3学期)

② 人に関わる学習

○ 『バリアフリー建部』

- ・点字体験をする。(9月)
- ・アイマスク体験をする。(10月)
- ・視覚障害について、外部講師から話を聞く。(11月)
- ・ユニバーサルデザインについて、外部講師から話を聞く。(1月)
- ・高齢者と交流をする。(2月)

③ 環境に関わる学習

○ 『建部の自然がつなぐ、わたしたちの絆』

- ・学区の自然と自分とのかかわりを振り返る。(1学期)
- ・田地子川の探検<1回目>(1学期)
- ・田地子川の探検・水質検査<2回目>(2学期)
- ・水辺の教室・水質検査(2学期)外部講師を招いて行う。
- ・昔の建部の川の様子(2学期)外部講師の話を聞く。
- ・川の教室・水質検査(2学期)外部講師を招いて行う。
- ・水源林の散策<田地子方面>(2学期)
- ・世界の水環境調べ(2学期)
- ・自分にできることを考え、実践する。(3学期)

④ 地域の歴史に関わる学習

○ 『建部再探訪～建部町の昔・今のよさを再発見し、発信しよう～』

- ・世界遺産について知る。(9月下旬)
- ・建部町の地域遺産について知る。(9月下旬)
- ・グループづくり<文化, 歴史, 自然, 産業, 行事, 人>(10月)
- ・調べる。<書籍, インターネット>(10月)
- ・フィールドワーク(10月)外部講師を招いて行う。
- ・建部町の遺産を守る。(10月)外部講師の話を聞く。
- ・まとめる。<パンフレット, リーフレット, 動画CM>(11, 12月)



①



②



③



④

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input checked="" type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input checked="" type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input checked="" type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input checked="" type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)	

エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

「さがしてみよう！まちのバリアフリー 家のバリアフリー」 高橋儀平 小峰書店 「目に障害のある子といっしょに バリアフリーの本」 竹内恒之 偕成社 「たけべの文化財」 建部町教育委員会編 「建部町史 地区誌・史料編」 建部町

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

ESDの学習活動は低学年では、主に生活科に、中・高学年では、総合的な学習を中心に進めていく。ESD年間指導計画を毎年作成し、計画に従って各担任が実践を行っていく。年度末には年間計画について、見直しをしながら、内容の改善に努めている。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

年度初めに、ESD教育計画について担当者から説明をし、共通理解を図っている。また、低学年部・中学年部・高学年部で取組の状況について情報交換を行い、共通理解して、実践にあたっている。また、分からないことがあれば前年度担任から説明してもらうなどし、継続して実践できるようにしている

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

教育課程の反省の中に項目を挙げ、ESDの取組について様々な立場から評価し、改善を行っている。児童が地域のよさに気づき、人や地域と関わる力が身に付きつつあるという成果が明らかになった。しかし外部への情報発信が不十分という課題が明らかになった。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

「建部小応援団感謝の会」を設定することにより、6年生の児童が ESD の学習活動の成果を地域の人々や下級生に発信する場を設定した。そのことにより、地域の方々がふるさと建部町の史跡や歴史についての認識を深めたり、学校教育への理解を深めることができた。また、下級生が建部町のすばらしさに気付き、調べてみたいという意欲を高めることができた。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)
(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

地域協働学校の担当者の方にも、地域学習などの活動に参加してもらう機会をつくることで、子どもたちの学習についての理解を深めてもらうことができた。しかし、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携はまだとれていないのが現状である。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

建部町の中学校区でユネスコスクール担当者の連絡会をもち、お互いの実践内容について情報交換を行っている。しかし、町外、国外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成はまだできていない。人的環境、資金的環境を整える必要がある。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項 2-5 に対応

ユネスコスクールの活動を通して、児童には地域のよさに気付き、地域の人と関わり、地域を大切にしていこうとする態度が醸成されつつある。また、教職員には地域の教材を開発する中で、地域への愛着が生まれたり、地域の人材と関わる中でネットワークができたりしつつある。

(3) 平成 30 年度の活動計画（200～400字程度）

ESD教育の授業を、1年生、2年生は生活科の時間、3年生～6年生は総合的な学習の時間を中心に進めていく。

① 1年生

『いきもの・人となかよし』

② 2年生

『大すき たけべちょう』

③ 3年生

『大豆の大変身！』

④ 4年生

『バリアフリー建部』

⑤ 5年生

『建部の自然がつなぐ、わたしたちの絆』

⑥ 6年生

『建部再探訪～建部町の昔・今のよさを再発見し、発信しよう～』